

NO-AAS

9月16日午後8時、自称動物愛護団体アーク・エンジェルズ（AAS）は、はるばる福岡県から51頭の犬を高島市に運び込みました。現在130頭近い犬が今津町酒波の犬舎に飼われています。

私たちは、住民の生活をおびやかす行為に立ち向かうため、ふるさと高島の豊かな自然と淀川源流のすばらしい環境を守るため、次のとおり反対行動を起こします。1人でも多くの方の参加をお願いいたします。

1. とき 平成20年10月19日（日） 雨天決行
2. 集合 午後0時30分 酒波多目的集会所前広場
3. 内容 集会および反対行動（デモ） 約1時間30分
4. その他

(1) 駐車場は、伊井区民グラウンドをご利用ください。

伊井バス停から、関係者が誘導します。（周辺はソバが満開です）

(2) 新米コシヒカリのおにぎりを用意しています。

(3) はちまきとプラカードも準備しますが、お手製のものをもちいただければ、なおうれしいです。

アーク・エンジェルズの進出反対期成同盟

高島の環境を守りアーク・エンジェルズ進出反対の地域活動を支援する会

住民の不安や苦痛を逆撫でする、AAsの度重なる多頭の犬の持込みに対して、
断固抗議する反対行動に多くの皆様のご参加を呼びかけます！

今回の抗議行動は、昨年11月27日地元住民の合意を得ることなく、疥癬感染犬を含む多頭の犬を強行搬入して以降、AAs林代表の薬事法違反をはじめとする違法行為、度重なる迷惑行為について明らかにするとともに、いまもって私たち地元住民、周辺住民、そして、高島市民は「アーク・エンジェルズは受け入れていない」という断固とした意思を、AAs林代表及びその関係者に示すものです。

9月16日に福岡の犬繁殖場の崩壊に伴って施設に持ち込まれた51頭を加え、施設内には現在130頭近い犬が飼われています。中にはかなりの数の病犬が含まれています。犬の泣き声も頭数に比例してまさに騒音に変わりつつあります。臭気についても、涼しくなる季節とは言え、病犬を含む犬の数に見合う悪臭を放とうとしています。また、130頭もの犬の面倒を見る飼育員については、以前林氏自身が認めていた、10頭に1人の飼育員を確保することはとても及ばず、犬たちにとっても極めて劣悪な環境のなかでの飼育と考えざるを得ません。さらに、AAsが設置した7人槽の合併浄化槽については、すでに処理能力を遥かに超えて使用がはじまりましたが、病気の犬が多数いるため消毒液の多用は避けられず、浄化槽の機能が著しく低下し、無処理の状態で放流されて琵琶湖や下流流域を汚染する懸念は一段と高まっています。また、AAs林氏はこのほど滋賀県に「犬の保管業」で「登録申請」し、あからさまに動物取扱い業を始めました。今後「シェルター収容能力の300頭までレスキュー」すると公言しています。こうした、私たち地元住民の感情を逆なでするAAs林氏に対して、怒りを込めて抗議するとともに、集会を契機に今後、いかなる違法行為も見逃さず、許さず告発してまいりたいと考えますので、多数の地元住民、市民の皆様のご参加を心から呼びかけ、お願い申し上げます。

兵庫県疥癬症感染犬レスキュー58頭 + 大阪市繁殖業者レスキュー71頭 + 福岡県繁殖業者レスキュー51頭 + 南九州レスキュー(予定)

なぜどうして、こんなにもたくさんの犬を淀川源流の静かな農村に持ち込まなければならないのでしょうか？